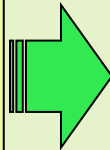


高等学校における特別支援教育の観点からの 指導・支援に関する研究

アンケート結果

現状

- 発達障害等の特別な支援の必要な生徒についての理解は進んでいる
- 得られた情報から指導・支援を検討している
- 個別の教育支援計画を活用できている学校は少ない
- 校内委員会だけでなく、既存の会議を使って実態把握や指導・支援の検討を行っている学校もある



課題

- 発達障害等の特別な支援の必要な生徒についての理解の一層の促進
- 特別な支援の必要な生徒への指導・支援の充実
- 個別の教育支援計画の作成及び活用
- 各学校の実情に応じた機能的な校内支援体制づくり

研究の目的

岡山県における高等学校の特別支援教育推進に関する事業及び調査研究の結果の整理・分析や県内全ての公立高等学校へのアンケート調査から、その現状と課題を明確にする。

それを基にして、高等学校で発達障害等の特別な支援が必要な生徒への理解を一層進め、適切な指導・支援を行うための研修資料となるハンドブックを作成する。

研究の成果

ハンドブック「自分らしく かがやく～発達障害のある高校生のための指導・支援～」

- 第1章 発達障害のある生徒の理解を一層進めるために
(発達障害 実態把握)
- 第2章 適切な指導・支援を充実するために
(学習面 行動面 人間関係面 進路を見据えた 自己理解 周囲の生徒の理解)
- 第3章 個別の教育支援計画の作成と活用をするために
(個別の教育支援計画 個別の教育支援計画の活用)
- 第4章 機能的な校内支援体制づくりをするために
(校内支援体制づくり 関係機関との連携)